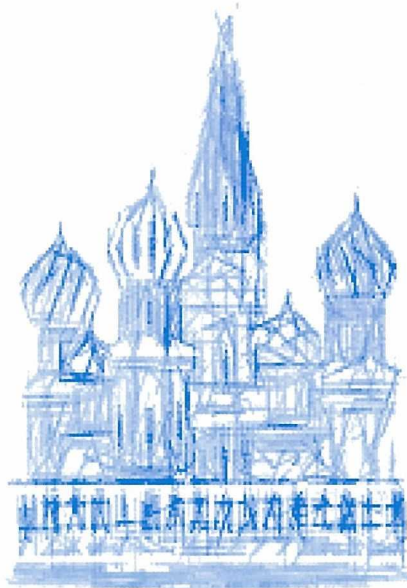


♪♪♪ 鎌響のファミコン 2013 ♪♪♪

鎌倉交響楽団 第11回 ファミリーコンサート



2013年3月9日 (土)

鎌倉芸術館 大ホール

14:00 開演



[主催] 鎌倉交響楽団

[後援] 鎌倉市教育委員会
鎌倉エフエム放送

指揮 清水 史広

司会 永井 邦子

- ◆ ロッシーニ作曲 歌劇「どろぼうかかさぎ」序曲
- ◆ ラヴェル作曲 亡き王女のためのパヴァーヌ
- ◆ ボロディン作曲 歌劇「イーゴリ公」より「ダッタン人の踊り」

~~~~~ 休憩 Intermission (20分) ~~~

<<< インスタント・コンダクター >>> (曲目は?!?!)

◆ ムソルグスキー作曲 ラヴェル編曲 組曲「展覧会の絵」

プロムナード I

1. こびと

プロムナード II

2. 古城

プロムナード III

3. テュイルリー (遊んだ後の口げんか)

4. ビドロ

プロムナード IV

5. 卵の殻をつけた雛鳥の踊り

6. サミュエル・ゴールドンベルクとシュムイレ

7. リモージュ 市場 (重大なニュース)

8. カタコンブ (ローマ時代の墓)

‘死せる言葉による死者への話しかけ’

9. 鶏の足のうえの小屋 (バーバ・ヤガー)

10. キエフの大門

プロフィール Profile

【指揮】 清水 史広



’89年相愛大学音楽部卒業。酒井睦雄、尾高忠明、円光寺雅彦の各氏に師事。同年、オペラ「ヘンゼルとグレーテル」で指揮者としてデビュー。以来コンサートやオペラで幅広く活躍し現在まで京都市交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラアンサンブル金沢、京都フィルハーモニー等を、オペラではモンテヴェルディからブリテンに至るまで数多くの演目を指揮。また、’95年から’98年まで文化庁オペラ研修所の講師として後進の育成に携わり、自らもウバルト・ガルディーニ氏の薫陶を受ける。’96年ウィーン及びザルツブルグで指揮した公演は新聞紙上でも「絶賛の嵐」と賞され、以来、欧州でも活動を開始。’96年水戸芸術館制作クリスマスコンサート、’98年同オペラ「ヘンゼルとグレーテル」を指揮、’98年三枝成彰プロデュース オペラ「椿姫」を、’00年同「トスカ」を指揮。びわ湖ホールとの関係も深く、’98年より芸術監督若杉弘氏の提唱で始まった、9年間にわたるヴェルディ作品の日本初演シリーズにスタッフとして関わり、自らも「魔笛」「こもり」「メリーウイドー」など同劇場のオペラ公演やコンサートレパートリーを数多く指揮する。’03年SINFONIA DOMANIの音楽監督に、そして’06年Jean Le Toise Yokohama の音楽監督に就任。’07年8月に指揮した「フィガロの結婚」は、各方面から高い評価で迎えられた。’08年シベリウスの大作「クレルヴォ交響曲」の関西初演を指揮。2010年藤沢オペラにおいて「道化師」を指揮した公演は「今年最大の収穫」(音楽の友評)と高い評価を受けた。近年ではオーケストラアンサンブル金沢制作の「OEK室内オペラシリーズ」を初め、全国で様々な活動を展開している。

【司会】 永井 邦子

武蔵野音楽大学声楽科卒業。大学在学中より各種コンサート・イベントの司会を手がける。温かい人柄とユーモアのある進行で神奈川フィルハーモニー管弦楽団をはじめ群馬交響楽団、アンサンブル金沢、鎌倉交響楽団、また日中友好コンサートなどの各種コンサートの司会・解説でその豊富な知識と親しみのある話しぶりで大きな信頼を獲得する。さらにクラシック音楽にとどまらず横浜市、川崎市、横須賀市の書く消防音楽隊の司会、各吹奏楽団のファミリーコンサート、邦楽コンサートでも活躍。横浜コーラルフェストでは長年にわたり司会進行を務めている。また神奈川県や横浜市主催のイベント、日本海事協会マリンフォーラムシンポジウムのコーディネーター、さらに神奈川県トラック協会や横浜港湾協会の式典でもその明るく落ち着いた語り口は多くの支持を得ている。





◆ 歌劇「どろぼうかささぎ」序曲

ロッシーニ (1792-1868) Gioacchino Rossini

1817年、ロッシーニが25歳の時に作曲されたこの歌劇は2幕のオペラ・ブッフア(18世紀から19世紀前半に流行った喜劇風のイタリアオペラ)で、音楽的には「セヴィリアの理髪師」よりも優れていると言われるほどでありましたが、台本が良くなかったためか今ではもう上演されることはなくなりました。序曲だけはよく演奏されており、村上春樹の小説「ねじまき鳥クロニクル 泥棒かささぎ編」の冒頭で「スパゲッティをゆでるのに一番適している曲」として紹介されていますが、堂々とした行進曲風な序奏から始まる、ご存知の方も多い管弦楽曲です。 [Vn K.K.]

◆ 亡き王女のためのパヴァーヌ

ラヴェル (1875-1937) Morice Ravel

この作品は1899年にピアノ曲として作られ、オーケストラ版はラヴェル自身の手によって1910年に編曲されました。この曲は発表されるとすぐにフランス中で大人気となり、一躍ラヴェルは人気作曲家となりました。パヴァーヌとは、16世紀から17世紀にかけてヨーロッパの宮廷で普及していた舞踏曲のことで、いわくありげなこの曲のタイトルに特に深い意味はなく、実はフランス語の韻、響きを楽しんだだけの命名だった、ということです。楽器編成は木管楽器、ホルン、ハープ及び弦楽器で、優雅で繊細さを持つ作品です。 [Vc A.I.]

◆ 歌劇「イーゴリ公」より「ダッタン人の踊り」

ボロディン (1834-1887) Alexander Borodin

ボロディンはロシア「五人組」の1人として活躍した、いわゆる国民楽派を代表する作曲家です。本来の職業は化学者でペテルブルグ医科大学の教授として忙しい生活を送っていたので、作曲をするのは休日のみで作品は多くないものの、交響曲や交響詩「中央アジアの草原にて」など強い個性を放つ曲がよく演奏されています。寡作家でしかも未完の曲が多く、歌劇「イーゴリ公」も未完のまま終わり、リムスキー＝コルサコフとグラスノフがボロディンの死から1年後に完成させました。

ダッタン(韃靼)とは本来タタールの中国名ですが、「イーゴリ公」に登場するのは現在の中央アジアから北カフカズ・南ロシアにかけて活躍した遊牧民族ポロヴェツ人であり、ダッタン人とは明らかに異なります。しかし日本ではこの曲名がすでに定着していることから多くの場合「ダッタン人の一」と表記されています。

物語は中世ロシア文学の名作である「イーゴリ軍記」を基にしています。キエフ・ロシアの公国を治めていたイーゴリ公が侵入と略奪を繰り返していたポロヴェツ人に対する討伐遠征の記録で、歌劇ではそのうちの1185年の遠征が取り上げられております。曲は、活気にあふれた舞曲の「ダッタン人の娘たちの踊り」と、捕虜となったイーゴリ公がポロヴェツ人の将軍コンチャークから手厚いもてなしを受ける場面で演奏される「ダッタン人の踊り」が続けて演奏されます。歌劇の中では合唱と独唱が加わり、本日の演奏のように声楽なしで演奏することもよくあります。 [Vn T.A.]

◆ 組曲「展覧会の絵」ラヴェル編曲

ムソルグスキー (1839-1881) & ラヴェル (1875-1937) Mussorgsky - Ravel

貴族出身のムソルグスキーは小さい時からピアノが得意で、士官学校在学時より創作を始め、作曲に専念するため軍人を2年で辞めました。ボロディンらと同じロシア国民楽派「五人組(他にキュイ、リムスキー＝コルサコフ、バラキレフ)」に加わり革新的作曲活動に積極的に取り組みましたが、軍隊時代に覚えた酒などの不摂生から脳卒中で42歳の若さで亡くなりました。

1873年、ムソルグスキーが33歳の時、大親友であり物心両面で支援をもらっていた建築家・画家のハルトマンが30代の若さで亡くなり、有志を募って翌年に彼の水彩画と建築デザインを集めた追悼展覧会を開きました。その中の10枚の絵を基にして、何かに取りつかれたかのように3週間足らずで一気にピアノ組曲「展覧会の絵」を作曲しました。しかし彼の生前には何故か演奏も出版もされず、ムソルグスキーがこの世を去ったあと、「五人組」の1人であるリムスキー＝コルサコフが彼の遺稿を整理し、1886年にやっと出版される運びになりました。その後この曲に目をつけ、「管弦楽曲として編曲してくれ」とラヴェルに強く依頼したのはロシア生まれのアメリカの指揮者クーゼヴィッキーでした。彼はラヴェルやドビュッシー、オネゲルと親交を結び、またボストン交響楽団の音楽監督としてストラヴィンスキー、バルトーク、ヒンデミットなどに作曲を委嘱し、彼がいなければ20世紀の多くの名曲は誕生しなかっただろう、と言われるほどです。

1922年にラヴェルが編曲した管弦楽曲は初演以来大評判となり、これ以後世界のオーケストラのレパートリーの中に組み込まれ、定着するようになってきました。

「プロムナード」という調号や楽器編成の異なる短い曲が導入部や間奏曲として挿入されているのが特徴的で、この「プロムナード」はムソルグスキー自身の会場を歩く姿を表現していると言われています。 [Trp. K.H.]



# 鎌倉交響楽団出演者名簿

団長：山本 賢二      コンサートマスター：五味 俊哉  
 会計：曾根 民子      ライブラリアン：石橋 智子      事務局長：田中 幸一  
 マネージャー：芥川 敬、今城 信彦、桐本 圭三、鈴木 渉子、鈴木 美緒、宮崎 敏幸  
**鎌響のファミコン2013** 実行委員：青木 淑子、伊東 敦、小川 穰、桐本 圭三、清水 里美、田ヶ原 恭子、  
 服部 絵里子、浜野 耕平、菘田 俊之

## 1st Violin

青木 淑子  
 石川 静  
 河原 清美  
 寛  
 ■五味 俊哉  
 菅井 直介  
 鈴木 渉子  
 鈴木 眞優  
 須長 麗子  
 曾根 民子  
 戸田 道子  
 永井 眞由美  
 ■本間 彩子  
 ■本山 まり子  
 八木 育江

■白水 千晶  
 関口 杏奈  
 多田 廣之  
 中橋 美木子  
 ■二川 賢一  
 御室 美佐子  
 望月 由佳  
 山崎 隆

**Viola**  
 阿部 明美  
 大貫 歩美  
 ■梶 成彦  
 ■佐々木 敬史  
 高橋 良子  
 田ヶ原 恭彦  
 築山 祐子  
 古屋 眞菜  
 正木 基清  
 水上

**Violoncello**  
 ■飯田 達男  
 伊東 敦  
 岩本 富美雄  
 大庭 伸仁

梶 淳子  
 藤洋子  
 志村 篤子  
 鈴木 達広  
 中野 太一  
 ■二川 有子  
 毛利 史子

**Contrabass**  
 大内 達郎  
 大澤 逸人  
 佐藤 正  
 ■中村 安孝  
 廣瀬 澄夫  
 ■福島 晋  
 矢野 健均  
 渡辺

**Flute & Piccolo**  
 ■曾根 美樹  
 高橋 弘子  
 高畑 裕恵

**Oboe & English horn**  
 ■桑野 若菜  
 清水 里美  
 辻 亮平

中橋 英純  
 山崎 一哉

**Clarinet**  
 内田 千枝子  
 片山 眞知子  
 篠原 祐子  
 鈴木 美緒  
 ■前沢 実  
 望月 俊哉

**Fagotto**  
 富井 一夫  
 眞柳 智之  
 三原 眞一  
 ■矢吹 紀子

**Saxophone**  
 ※近藤 仁史

**Horn**  
 芥川 敬  
 稲生 真莉  
 ■臼井 賢司  
 服部 絵里子  
 宮崎 敏幸  
 山崎 和彦  
 山田 克彦

## Trumpet

後藤 三穂子  
 竹内 純子  
 津金 勝技  
 浜野 耕平  
 ■福地 稔栄

## Trombone & Tuba

■有賀 功  
 桜井 貴志  
 府川 創作  
 藤村 晶夫  
 ※仁藤 雄貴

## Percussion

■今城 信彦  
 太田 純  
 高橋 正彦  
 菘田 俊之  
 横山 豊秀

## Harp

※杉山 敦子  
 ※藤木 沙織

## Celesta

※上杉 弥花

■ パートリーダー  
 ※ 賛助出演

今回の演奏会にあたり、平林 剛先生にもご指導いただきました。

## ♪～♪～♪～♪～ 鎌響演奏会のお知らせ ～♪～♪～♪～

### ～～ 第101回 定期演奏会 ～～

2013年6月8日(土) 午後2時開演予定  
 鎌倉芸術館 大ホール 指揮 上野 正博

- ◆ベルリオーズ 序曲「ローマの謝肉祭」
- ◆ドヴォルザーク チェロ協奏曲 口短調 チェロ 藤村 俊介
- ◆ブラームス (シェーンベルクによる管弦楽編曲版) ピアノ四重奏曲 第1番

### ～～ 第102回 定期演奏会 ～～

2013年11月9日(土) 午後2時開演予定  
 鎌倉芸術館 大ホール 指揮 新田 ユリ

- ◆デュカ 交響詩「魔法使いの弟子」
- ◆シベリウス「悲しきワルツ」、組曲「カレリア」
- ◆ファリャ バレエ音楽「三角帽子」

□ 鎌響ではバイオリン・ビオラのオーケストラ経験者を募集しております。なお、募集終了の場合はご了承ください  
 連絡先: 鎌倉交響楽団事務局 田中 幸一 電話: 0467-25-3512 □ 鎌響ホームページもご覧ください。http://homepage2.nifty.com/kso/

## 世界で一番小さいデパート

# アトリエ K&T (わや)

古布ちりめんの香袋など  
 オリジナル商品、かわいいもの、素敵なもの、  
 両手いっぱいにあります!

営業時間/ 10:00 ~ 16:00  
 〒248-0002 鎌倉市二階堂 38-9

営業日/ 木、金、土  
 TEL. 0467-24-5918  
 フリーダイヤル 0120-50-2615



在柄天神店  
 営業時間 10:00 ~ 16:00  
 鎌倉駅前バス停No.5  
 天神前下車

至北鎌倉 鎌倉駅 至逗子  
<http://homepage3.nifty.com>